

スウェーデンの脳損傷者福祉事情視察「5月17日(日)～5月24日(日)」

研修の概要報告

2009.6. TKK

スウェーデンの脳損傷者福祉事情視察「5月17日(日)～5月24日(日)」の研修の概要です。視察・研修・講義・ディスカッション等々の詳細については、12月6日(日)に報告会(於: 日本財団ビル)を開催、及び、年度内に報告書を刊行する予定です。

【視察先】

5・18 (ランチ: サムハル職員が働くレストラン)

- SQCにて講義 SQCのエミル氏
「スウェーデンにおける脳損傷者に対するサポート、リハビリテーション、手法」
- 脳損傷団体「ヤークラフト」ストックホルム部訪問
 - ・1988年設立
 - ・メンバーはストックホルムに450名。
全国に3000名
- 「@ホーム」見学 ダンデリード大学病院内



ヤークラフトでは温かい歓迎をうけました

5・19 (ランチ: ダンデリード大学病院内食堂)

- ダンデリード大学病院
 - ・事故直後の治療とリハのためのユニット
 - ・外来患者のためのユニット
- カロリンスカ・インスティテュート
 - ・カロリンスカにあるデイリハビリ
- サムハル (障害者の職業支援)

5・20 (ランチ: 高齢者などのサービスハウス)

- 自治体(ナッカ市)訪問
 - ・自治体からの具体的なサポート・ケアについて
 - ・脳損傷者への政策
- デイケアアクティビティーセンター
 - ・比較的軽度の方むけの作業所
 - ・貸し会議室・工芸品やお土産のショップ
- デイケアセンター
 - ・比較的重度の方向け
 - ・音楽、絵画、スヌーズレン、トレーニング



グループホームの一室

5・21 (ランチ: サービスハウス)

- グループホーム見学 (5名の入居者)
 - ・男性と女性の入居者に会い、部屋をみせてもらう
 - ・スタッフ、入居者、視察団でティータイム
- 脳損傷者の家庭訪問
 - ・パーソナルアシスタントとの生活
- プログラムのまとめと質疑応答
 - ・SQC エミル氏



自宅でパーソナルアシスタントと暮らすマルガリータさん

【スウェーデン視察研修参加者名】 (敬称略)

大貫 学 (埼玉医科大学大学総合医療センター 神経内科准教授 医師)
高濱 美里 (埼玉医科大学総合医療センター 神経内科 医師)
長谷 方人 (日本社会事業大学専門職大学院客員教授・ケアタウン小平開設者)
豊田 烈 (サークルフレンズ、愛知脳損傷協会準備委員 当事者父)
近藤 敏子 (ハイリハ東京、看護師、当事者母)
近藤 裕一 (ハイリハ東京、当事者)
綿貫 幸枝 (東葛菜の花「高次脳機能障害者と家族の会」、当事者母)
小林 恵子 (脳外傷友の会ナナ、JOYリトミッククラブ主宰、当事者母)

細見 みゑ (TKK、ハイリハ東京、薬剤師、当事者母)
田辺 和子 (TKK、サークルエコー、当事者母)

企 画 : NPO法人東京高次脳機能障害協議会 (TKK)

研修主催 : スウェーデン クオリティケアー (SQC)

旅行主催 : (株)ツムラーレ コーポレーション ネットトラベルサービス

研修助成 : 損保ジャパン記念財団、日本財団、ヤマト福祉財団

事務局 : NPO 法人 東京高次脳機能障害協議会 (TKK)
<http://www.brain-tkk.com>

〒107-0062 東京都港区南青山 2-14-14 (細見方)
TEL&FAX : 03-3408-3798
E-mail : hosomi@brain-tkk.com